

平成27年度産油国石油精製技術等対策事業費補助金（産油・産ガス国開発支援事業のうち
中東等産油・産ガス国投資等促進事業（ロシア等投資促進事業））

[以下、石油特別会計 ロシア等投資促進事業]

(1) 技術市場・技術投資環境調査 現地調査

「カスピ海地域を起点とするガスパイプライン建設の可能性と日本の協力の展望」
実施報告書

2016年2月
(一社) ロシアNIS貿易会

1. 事業及び調査目的

近年の石油国際情勢の変動により、日本への原油の安定的供給が重要な課題となっているところ、エネルギー安全保障の観点から中東産油国のみならず、同様に豊富な炭化水素資源埋蔵量を持つロシア・中央アジア・コーカサス地域諸国（以下ロシア等産油国）との連携強化が極めて重要な課題となっている。本事業では、同地域との投資促進等を通じた関係強化の推進を目的とし、ロシア等産油国に関わるエネルギー関連産業調査、また石油精製・加工あるいは石油関連の省エネルギー・環境技術等の提供・交流を行うことにより、有数のエネルギー資源国である同地域との関係を発展させ、日本企業の産業活動に必要な不可欠であるエネルギーの安定供給の確保を目指す。

その一環である技術市場・技術投資環境調査は、対象国の石油関連分野への日本企業の進出に関わる諸条件、すなわち経済・産業政策、外国投資環境、石油関連セクターの現状と課題、石油関連分野の経済特区あるいは工業団地等に係る調査を行い、石油・ガス分野における日本の高度技術の現地導入を通じた対象国の経済多角化支援という本事業全体目的の達成のために必要な課題を明らかにするものである。中央アジア・コーカサス地域における今年度の対象国はカザフスタン、アゼルバイジャン、およびトルクメニスタンである。

平成27年10月の安倍総理の中央アジア5カ国歴訪後、当該諸国と日本との間では関係発展の機運が高まっている。特に本事業の対象国の1つであるトルクメニスタンでは同年12月に同国を基点とするTAPI（トルクメニスタン～アフガニスタン～パキスタン～インド）パイプラインの起工式が行われ、現地政府の招待により、日本からも政府要人が参加した。

カスピ海地域を起点とする輸出用幹線ガス・パイプラインについては、生産国・トランジット国・消費国、全ての関係諸国・地域に経済発展と、これを通じた政治的安定をもたらすとの期待から、当該のTAPIをはじめ、各種新規ルートを検討が行われてきた。しかし、地域を囲む地政学的条件により、ソ連邦解体以来、建設・稼動に至ったのは中国向けの1ルートのみ留まっている。上記の通り、TAPI起工式に日本が招かれたのは、日本の協力に対する現地側の期待を示すものであろうが、カスピ海地域からのパイプライン建設に対する日本の関与については、その現実性、具体的内容、さらには効果等、多くの検討すべき事項がある。

以上の認識に鑑み、本調査ではカスピ海地域を起点とする各種新規ガスパイプライン・ルートについて、その特徴やプロジェクトとしての進捗状況を政治的・経済的観点から分析、またそれぞれに対する関係各国のスタンスについて整理し、もって最終的に、新規ガス輸出ルート開拓に対する日本の協力の可能性について考察した。

2. 派遣日程

派遣期間：平成28年2月6日（土）～2月13日（土）、9日間：輪島

平成28年2月4日（木）～2月13日（土）、11日間：中馬

派遣地域：カザフスタン共和国 アスタナ市

出張者：輪島 実樹（一社）ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 部長

中馬 瑞貴 同 研究員

稲本智佳子 日露通訳

	日付	時刻	日程	宿泊地
1	2/4(木)	13:10 17:35	NRT 発(SU261) SVO 着	モスクワ
2	2/5(金)	10:00 12:00 17:00	◇BP・ルイセンコ・シニア経済アドバイザー ◇政治工学センター・マカレンコ所長 ◇モスクワ・カーネギー財団	モスクワ
3	2/6(土)	13:00 15:00	◇「石油と資本」サヴシキン編集長 ◇ルスエナジー	モスクワ
4	2/7(日)	11:00 15:00	SVO 発(SU1854) BAK 着	バクー
5	2/8(月)	10:00 11:00 12:00 13:30 15:00 20:55 22:15	◇BP ◇Profile ◇エネルギー省 ◇伊藤忠商事バクー事務所 ◇国営石油会社(SOCAR) BAK発(TK335) IST着	アシガバード
6	2/9(火)	00:40 07:30 10:00 11:00 16:00 18:00	IST発(TK324) ASB着 ◇ADBトルクメニスタン事務所 ◇在トルクメニスタン日本大使館表敬 ◇石油ガス省 ◇炭化水素資源国家管理・利用庁	アシガバード
7	2/10 (水)	08:45 10:05 14:00 18:40	ASB発(TK323) IST着 ◇Kadir Has大学 IST発(TK354)	アスタナ
8	2/11 (木)	03:35 11:00 13:00 15:00	TSE着 ◇KasTransGaz, Sanzhar Bokayey ◇BG Kazakhstan ◇カザフスタン原子力協会	アスタナ
9	2/12 (金)	10:00 11:00 15:00 18:55 20:35 23:15	◇クルマンseit・カザフスタン日本経済委員会会長 ◇カザフスタン共和国投資・発展省 ◇Kazenergy TSE発(KC954) ALA着 ALA発(OZ578)	機中泊
10	2/13 (土)	07:55 10:00 12:10	ICN着 ICN発(OZ104) NRT	

※面談概要については、平成27年度ロシアNIS貿易会特別報告書『カスピ海地域を起点とするガスパイプライン建設の可能性と日本の協力の展望』を参照のこと

以上